

腎臓・リウマチ膠原病内科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	腎疾患及びリウマチ性疾患の診断・治療・予後に関する後ろ向き研究
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 羽生田 正行
担当科等	腎臓・リウマチ膠原病内科
研究責任者	(職名) 教授 (氏名) 伊藤 恭彦
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	非該当
研究の意義・目的	腎疾患および膠原病を含めたリウマチ性疾患の中には、臓器病変の存在により、生命予後に大きく影響する疾患が含まれています。しかし、依然として病因解明や治療法の確立が十分に進んでいるとは言えず、診療実態の把握、病態解明、診療ガイドラインの作成及び普及が緊急の課題となっています。そこで、本研究では愛知医科大学腎臓・リウマチ膠原病内科に通院中の腎疾患・リウマチ性疾患患者さんを対象に、診療録を用いて臨床データを蓄積して、その実態を詳細に調査・解析し、有効な予防法や治療法を開発することを目的としています。
対象となる患者さん	2010年4月から2018年12月までに当院で腎疾患および膠原病を含めたリウマチ性疾患と診断され、通院歴のある患者さん
研究の方法	これまでの診療でカルテに記録されている年齢・性別・臨床診断・臨床所見・血液検査・尿検査・病理組織所見・治療の内容・予後などを収集して、集計します。 患者さんのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。また、この研究における個人の研究結果の開示は、ご希望される場合にのみ行います。患者さんの同意により、ご家族等(父母(親権者)、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人)を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。 この研究は患者さんのデータを個人情報がわからない形にして、学会や論文で発表させていただきますので、ご了解ください。

研究期間	倫理審査承認日 ～ 2023年3月31日
研究に用いる試料・情報	年齢・性別・臨床診断・臨床所見・血液検査・尿検査・病理組織所見・治療の内容・予後など
外部への試料・情報の提供	なし
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学 医学部 腎臓・リウマチ膠原病内科 担当者：助教（氏名） 山口 真 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 23530）